

ワークショップシリーズ ブレーシングウォール ガイドライン（仕様説明書）

1：計画

接地位置の地域性（地盤特性：積雪量と多雪地域の確認、標準風速（ v_0 ）を調査の上、風の影響度を最小限にする為に遮蔽部を含めた設置位置を十分に検討して下さい。又、必要な構造計算を行い、安全を確認して下さい。木構造部の積雪仕様は各図面を参照して下さい。尚、耐風性能は33m/secとなります。AS（オーストラリアスタンダード）を参考にした風速査定の方法は、ユーロ物置ハンドブックに記載されていますので参照して下さい。遮蔽物などを考慮して強風時の対策について使用者とドアの方向を含め十分協議して下さい。

2：構造方法（仕様規定不要な木造）

延べ床面積が10m²以内の物置なので施行令40条に該当し、仕様既定はありません。本設計は枠組み壁工法の告示1540や1541を参考にして木造フレーム工事を行います。

3：張壁（ABSCO KITパネルの固定）

ABSCO 4523WK2のジंकロームメッキ処理、高張力鋼板(外装パネル)を屋根葺き材や外壁に使い、構造的には張壁と定義します。上記パネルの組立マニュアルを参照しながらスナップタイトにより鋼板の剛性を高めたパネルを組み合わせて組み立て、あらかじめ組立た木構造フレーム材に沿って設置組み立てを行います。

4：基礎

法律上基礎については規定はありません。図示基礎伏図と断面図は建築基準法に基づく仕様と但し書きによる仕様を示していますが参考図とします。ただし基礎形状において地上部分の各寸法は図示に従って下さい。尚、アンカーは後打ちアンカーとします。

5：オプション

耐風に関するオプション内容は以下の通りです。

屋根部分：屋根下地木材見付幅38mm部分および屋根軒端のコロビ止材-見付幅38mmにパッキン付きビス（ダンバ6950PZM 若井産業相当品）を@148mmで設置します。

壁：D5L65mm以上の木下地用ビス（ダンバ69565TU 若井産業相当品）を使用します。胴縁材・上枠材には@148mmに設置します。

年 月 日

ご署名

印